

令和3年11月

財政状況

令和2年度決算の概要

令和3年度上半期の県財政

和歌山県

ま え が き

この「和歌山県の財政状況」は、県民の皆さんに県財政の現状をお知らせすることによって、県財政について御理解をいただき、県勢の発展について御協力を得るため、毎年2回定期的に公表しているものです。

今回は、令和2年度決算の概要及び令和3年度上半期における県財政の運営状況等について、そのあらましを説明します。

なお、この資料における計数は、原則として四捨五入によっているため、端数において合計と一致しない場合があります。

令和3年11月

和歌山県知事 仁坂吉伸

目 次

I 令和2年度決算の概要

1 一般会計の決算について	1
(1) 決算規模	1
(2) 実質収支	1
(3) 歳入	2
(4) 歳出	5
2 特別会計（企業会計除く）の決算について	9

II 令和3年度上半期の予算の状況

1 予算の補正状況	10
(1) 一般会計予算について	10
(2) 特別会計（企業会計除く）予算について	10

III 県債及び一時借入金の状況

1 県債について	15
2 一時借入金について	15

IV 県有財産の状況

1 公有財産	17
2 物品	19
3 債権	19
4 基金	20

V 企業会計の業務状況

1 和歌山県立こころの医療センター事業会計	22
2 和歌山県工業用水道事業会計	32
3 和歌山県土地造成事業会計	41
4 和歌山県流域下水道事業会計	50

VI 令和2年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率

1 健全化判断比率	58
2 資金不足比率	58

VII 用語解説	60
----------	----

I 令和2年度決算の概要

1 一般会計の決算について

(1) 決算規模

令和2年度の一般会計における歳入総額は6,616億2,431万7千円、歳出総額は6,434億4,220万5千円で、前年度に比べて、歳入は1,053億731万9千円、18.9%の増、歳出は966億367万8千円、17.7%の増となっています。

(2) 実質収支

令和2年度の形式収支（歳入歳出差引額）は、181億8,211万2千円の黒字であり、これから翌年度に繰り越すべき財源43億3,127万6千円を差し引いた実質収支は、138億5,083万6千円の黒字です。

また、前年度の実質収支67億300万9千円との差である単年度収支は、71億4,782万7千円の黒字となりました。

第1表 令和2年度一般会計歳入歳出決算状況

(単位：千円)

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B) (%)
1 歳 入 総 額	661,624,317	556,316,998	105,307,319	118.9
2 歳 出 総 額	643,442,205	546,838,527	96,603,678	117.7
3 歳 入 歳 出 差 引 額	18,182,112	9,478,471	8,703,641	191.8
4 翌年度へ繰越すべき財源	4,331,276	2,775,462	1,555,814	156.1
(1) 継続費通次繰越額	-	-	-	-
(2) 繰越明許費繰越額	4,291,870	2,747,196	1,544,674	156.2
(3) 事故繰越し繰越額	39,406	28,266	11,140	139.4
5 実 質 収 支 額	13,850,836	6,703,009	7,147,827	206.6
6 単 年 度 収 支 額	7,147,827	3,276,453	3,871,374	218.2

※単年度収支＝当年度実質収支－前年度実質収支

(3) 歳入

歳入の内訳は、第2表のとおりです。

地方交付税、国庫支出金及び県債等の依存財源が4,227億466万7千円で63.9%を占め、

用語解説3

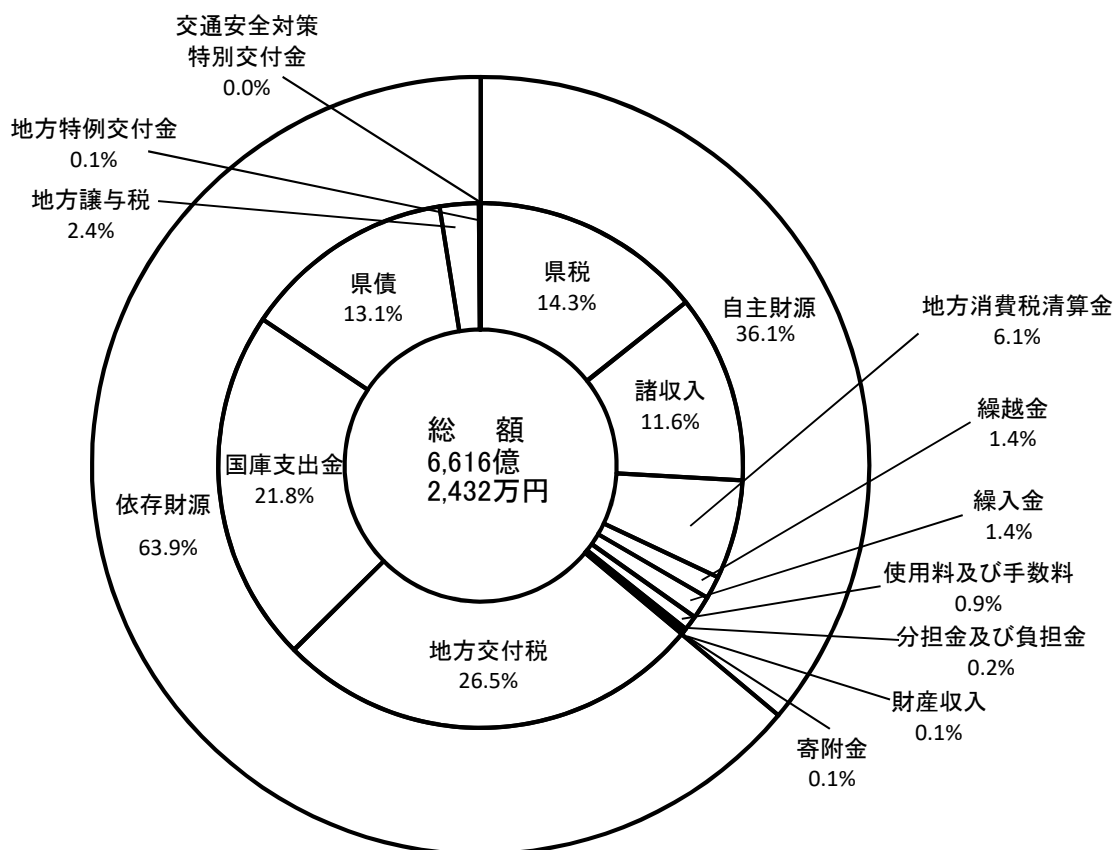
県税及び諸収入等の自主財源は、2,389億1,965万円で36.1%となっています。

自主財源のうち主なものは、県税と諸収入であり、県税の税目の内訳は、第3表のとおりです。

歳入の決算額の内訳を額の多いものからみると、

- | | | | |
|---|-------|-----------------|------------------------|
| 1 | 地方交付税 | 1,751億5,267万3千円 | (構成比26.5%、対前年度伸率2.2%) |
| 2 | 国庫支出金 | 1,442億1,983万3千円 | (構成比21.8%、対前年度伸率75.4%) |
| 3 | 県税 | 946億7,197万6千円 | (構成比14.3%、対前年度伸率0.2%) |
- の順となっています。

第1図 款別歳入決算の状況



第2表 令和2年度一般会計歳入決算状況

(単位：千円)

款別	区分	最終予算額			収入済額 (A)	(A)の構成比 (%)
		予算額	繰越事業費 繰越財源充当額	計		
1	県税	93,137,200	-	93,137,200	94,671,975	14.3
2	地方消費税清算金	40,294,000	-	40,294,000	40,296,253	6.1
3	地方譲与税	15,781,000	-	15,781,000	15,906,012	2.4
4	地方特例交付金	641,045	-	641,045	641,045	0.1
5	地方交付税	175,029,977	-	175,029,977	175,152,673	26.5
6	交通安全対策特別交付金	185,000	-	185,000	210,004	0.0
7	分担金及び負担金	1,160,320	-	1,160,320	1,158,101	0.2
8	使用料及び手数料	5,975,566	-	5,975,566	5,996,568	0.9
9	国庫支出金	158,859,354	37,621,225	196,480,579	144,219,833	21.8
10	財産収入	927,171	-	927,171	943,291	0.1
11	寄附金	544,799	-	544,799	552,227	0.1
12	繰入金	9,693,125	-	9,693,125	9,068,594	1.4
13	繰越金	6,703,009	2,775,462	9,478,471	9,478,471	1.4
14	諸収入	92,319,188	99,514	92,418,702	76,754,169	11.6
15	県債	99,576,000	29,496,400	129,072,400	86,575,100	13.1
	計	700,826,754	69,992,600	770,819,354	665,311,291	100.0

第3表 県税収入実績表

(単位：千円)

税目	令和2年度						令和元年度					
	予算額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	(C)の構 成比 (%)	(C)/(A) (%)	(C)/(B) (%)	調定額 (D)	収入済額 (E)	(E)の構 成比 (%)	(E)/(D) (%)	(C)-(E)	(C)/(E) (%)
	1 県民税 個人 法人 利子割	33,382,000	34,494,506	33,711,898	35.6	101.0	97.7	34,945,283	34,103,646	36.1	97.6	▲ 391,748
2 事業税 個人 法人	18,115,000	19,427,529	18,996,980	20.1	104.9	97.8	20,443,096	20,403,546	21.6	99.8	▲ 1,406,566	93.1
3 地方消費税 譲渡割 貨物割	1,185,000	1,206,906	1,201,148	1.3	101.4	99.5	1,090,513	1,082,213	1.1	99.2	118,935	111.0
4 不動産取得税	16,930,000	18,220,623	17,795,832	18.8	105.1	97.7	19,352,584	19,321,332	20.5	99.8	▲ 1,525,500	92.1
5 果たばこ税	20,972,000	21,209,052	21,109,052	22.3	100.7	99.5	18,626,927	18,626,927	19.7	100.0	2,482,125	113.3
6 ゴルフ場利用税	17,608,000	17,667,214	17,667,214	18.7	100.3	100.0	15,050,127	15,050,127	15.9	100.0	2,617,087	117.4
7 自動車取得税	3,364,000	3,441,837	3,441,837	3.6	102.3	100.0	3,576,800	3,576,800	3.8	100.0	▲ 134,963	96.2
8 軽油引取税	1,781,000	1,975,819	1,860,939	2.0	104.5	94.2	1,799,771	1,719,093	1.8	95.5	141,846	108.3
9 自動車税	1,035,000	1,029,167	1,029,167	1.1	99.4	100.0	1,058,549	1,058,549	1.1	100.0	▲ 29,382	97.2
10 鉱区税	291,000	302,860	302,760	0.3	104.0	100.0	313,892	313,892	0.3	100.0	▲ 11,132	96.5
11 狩猟税	-	-	-	-	-	-	800,333	800,333	0.8	100.0	▲ 800,333	皆減
計	5,865,000	6,006,326	5,950,566	6.3	101.5	99.1	6,432,451	6,017,393	6.4	93.5	▲ 66,827	98.9
	11,681,000	11,732,030	11,695,090	12.4	100.1	99.7	11,459,203	11,418,511	12.1	99.6	276,579	102.4
	100	91	91	0.0	91.0	100.0	91	91	0.0	100.0	0	100.0
	15,100	15,433	15,433	0.0	102.2	100.0	14,968	14,968	0.0	100.0	465	103.1
	93,137,200	96,092,814	94,671,975	100.0	101.6	98.5	95,894,564	94,476,949	100.0	98.5	195,026	100.2

(4) 歳出

歳出の款別内訳は、第2図及び第4-1表のとおりです。

また、性質別に見ると第3図及び第4-2表のとおりです。

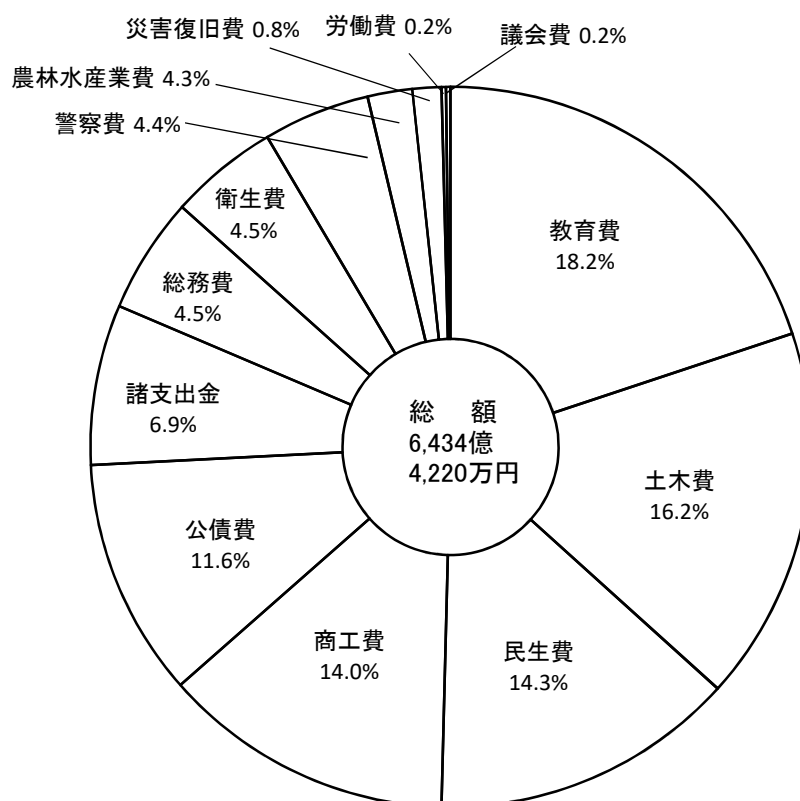
歳出は、その行政目的によって、総務費、民生費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、警察費、教育費、公債費などに大別することができます。

令和2年度の決算額の内訳を額の多いものからみると、

1	教育費	1, 173億6, 374万9千円	(構成比18.2%)	対前年度伸率	9.6%
2	土木費	1, 042億3, 957万円	(構成比16.2%)	対前年度伸率	7.5%
3	民生費	920億4, 171万円	(構成比14.3%)	対前年度伸率	23.8%
4	商工費	898億8, 587万4千円	(構成比14.0%)	対前年度伸率	67.6%
5	公債費	746億2, 206万9千円	(構成比11.6%)	対前年度伸率	2.1%

の順となっています。

第2図 款別歳出決算の状況



第4-1表 令和2年度一般会計歳出（款別）決算状況

(単位：千円)

款別	区分	最終予算額				支出済額 (A)	翌年度繰越額	(A)の構成比 (%)
		予算額	前年度繰越 事業費繰越額	予備費充当額	計			
1 議	会費	1,248,939	-	4,093	1,253,032	1,213,573	-	0.2
2 総	務費	32,753,502	475,962	1,000	33,230,464	28,814,924	3,090,587	4.5
3 民	生費	95,640,541	1,086,171	800	96,727,512	92,041,710	828,574	14.3
4 衛	生費	35,950,309	203,566	4,987	36,158,862	28,721,507	188,606	4.5
5 労	働費	1,276,987	-	-	1,276,987	1,121,340	27,298	0.2
6 農	林水産業費	28,009,880	8,825,703	189,120	37,024,703	27,610,008	8,460,099	4.3
7 商	工費	111,295,839	43,568	-	111,339,407	89,885,874	1,513,568	14.0
8 土	木費	122,526,912	55,179,380	-	177,706,292	104,239,570	71,721,559	16.2
9 警	察費	28,807,971	43,888	-	28,851,859	28,240,704	40,575	4.4
10 教	育費	119,260,518	819,269	-	120,079,787	117,363,749	336,653	18.2
11 災	害復旧費	4,517,915	3,315,093	-	7,833,008	5,006,960	2,266,683	0.8
12 公	債費	74,661,258	-	-	74,661,258	74,622,069	-	11.6
13 諸	支出名	44,676,183	-	-	44,676,183	44,560,217	-	6.9
14 予	備費	200,000	-	▲200,000	0	-	-	-
	計	700,826,754	69,992,600	-	770,819,354	643,442,205	88,474,202	100.0

歳出は、また、その性質別に、消費的経費、投資的経費、その他の経費に大別することができます。

消費的経費（人件費、物件費、扶助費等）

3,426億6,407万2千円（構成比53.2%、対前年伸率 19.3%）

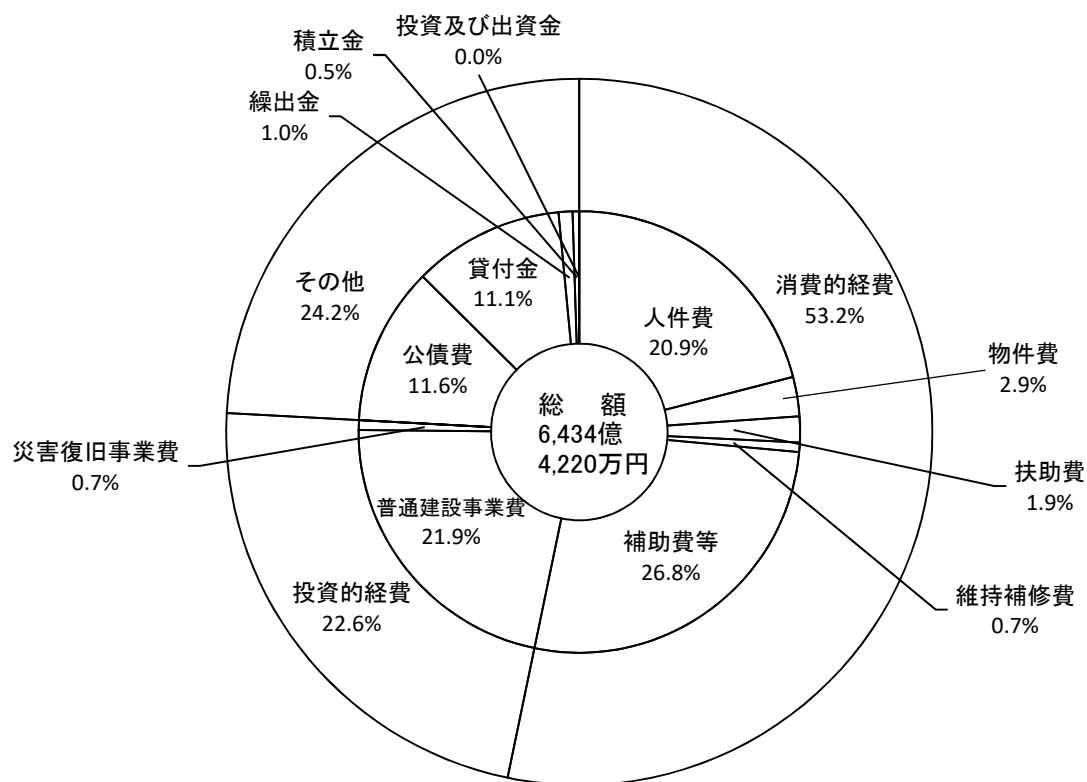
投資的経費（普通建設事業費、災害復旧事業費及び失業対策事業費）

1,454億138万9千円（構成比22.6%、対前年伸率 13.8%）

その他経費（公債費、貸付金、繰出金等）

1,553億7,674万4千円（構成比24.2%、対前年伸率 18.0%）

第3図 性質別歳出決算の状況



第4-2表 令和2年度一般会計歳出（性質別）決算状況

(単位：千円)

区分	令和2年度		令和元年度		比較	
	決算額 (A)	構成比 (%)	決算額 (B)	構成比 (%)	増減額 (C) (A)-(B)	増減率 (%) (C)/(B)
1 消費的経費	342,664,072	53.2	287,314,380	52.5	55,349,692	19.3
(1)人件費	135,001,683	20.9	136,733,508	25.0	▲1,731,825	▲1.3
(2)物件費	18,542,714	2.9	15,749,217	2.9	2,793,497	17.7
(3)維持補修費	4,425,475	0.7	3,486,880	0.6	938,595	26.9
(4)扶助費	12,211,819	1.9	12,309,518	2.2	▲97,699	▲0.8
(5)補助費等	172,482,381	26.8	119,035,257	21.8	53,447,124	44.9
2 投資的経費	145,401,389	22.6	127,823,338	23.4	17,578,051	13.8
(1)普通建設事業費	140,813,396	21.9	120,720,405	22.1	20,092,991	16.6
補助	94,239,403	14.7	84,802,653	15.5	9,436,750	11.1
単独	31,720,319	4.9	23,046,053	4.2	8,674,266	37.6
国直轄	14,853,674	2.3	12,871,699	2.4	1,981,975	15.4
(2)災害復旧事業費	4,587,993	0.7	7,102,933	1.3	▲2,514,940	▲35.4
補助	4,570,902	0.7	6,821,260	1.2	▲2,250,358	▲33.0
単独	17,091	0.0	281,673	0.1	▲264,582	▲93.9
国直轄	-	-	-	-	-	-
(3)失業対策事業費	-	-	-	-	-	-
3 公債費	74,533,282	11.6	72,999,360	13.4	1,533,922	2.1
4 積立金	3,120,696	0.5	5,532,458	1.0	▲2,411,762	▲43.6
5 投資及び出資金	0	0.0	405,104	0.1	▲405,104	▲100.0
6 貸付金	71,171,501	11.1	46,010,200	8.4	25,161,301	54.7
7 繰出金	6,551,265	1.0	6,753,687	1.2	▲202,422	▲3.0
歳出合計	643,442,205	100.0	546,838,527	100.0	96,603,678	17.7

2 特別会計（企業会計除く）の決算について

特別会計は、特定の事業について、その事業の収支状況を明確にするため、一般会計と分離して設けられた会計です。

これらの決算状況は、第5表のとおりとなっています。

第5表 令和2年度特別会計歳入歳出決算状況

(単位：千円)

会 計 名	最終予算額 (A)	収入済額 (B)	支出済額 (C)	差引剰余金 (B)-(C)	(B)/(A) (%)	(C)/(A) (%)
1 農林水産振興資金	181,188	795,147	128,402	666,745	438.9	70.9
2 中小企業振興資金	473,931	625,795	433,028	192,767	132.0	91.4
3 母子父子寡婦福祉資金	201,195	193,794	139,038	54,756	96.3	69.1
4 修学奨励金	317,786	342,206	290,736	51,470	107.7	91.5
5 職員住宅	201,935	202,520	176,063	26,457	100.3	87.2
6 国民健康保険	103,711,834	104,403,784	100,683,671	3,720,113	100.7	97.1
7 県営競輪事業	16,101,381	16,282,130	15,698,134	583,996	101.1	97.5
8 県営港湾施設管理	966,247	976,510	915,791	60,719	101.1	94.8
9 市町村振興資金	846,541	2,840,532	328,031	2,512,501	335.5	38.7
10 自動車税証紙	788,000	741,985	741,985	-	94.2	94.2
11 用地取得事業	4,013,132	3,669,296	3,669,296	-	91.4	91.4
12 公債管理	116,988,003	116,940,819	116,940,819	-	100.0	100.0
計	244,791,173	248,014,517	240,144,994	7,869,523	101.3	98.1

Ⅱ 令和3年度上半期の予算の状況

用語解説 8

1 予算の補正状況

(1) 一般会計予算について

上半期の補正額は、395億126万8千円となっており、9月末現在の一般会計総額は、6,515億2,254万円となっています。

一般会計歳入歳出予算の補正状況は、第6表、第7-1表及び第7-2表のとおりです。

(2) 特別会計（企業会計除く）予算について

9月末現在の特別会計総額は、2,330億933万1千円となっています。

特別会計予算の状況は、第8表のとおりです。

第6表 令和3年度一般会計歳入予算の状況

(単位：千円)

区分	令和3年度								令和2年度		(A)/(B) (%)	
	当初予算	4月補正	4月専決	5月専決	6月補正	9月補正	9月補正追加	9月末現計 (A)	構成比 (%)	9月末現計 (B)		構成比 (%)
1 県 税	90,164,100	-	-	-	-	-	-	90,164,100	13.8	94,213,000	13.7	95.7
2 地方消費税清算金	41,749,000	-	-	-	-	-	-	41,749,000	6.4	42,992,000	6.2	97.1
3 地方譲与税	12,503,000	-	-	-	-	-	-	12,503,000	1.9	16,257,000	2.4	76.9
4 地方特例交付金	504,000	-	-	-	-	-	-	504,000	0.1	504,000	0.1	100.0
5 地方交付税	170,100,000	-	-	-	-	599,843	-	170,699,843	26.2	171,818,363	25.0	99.3
6 交通安全対策特別交付金	188,000	-	-	-	-	-	-	188,000	0.0	205,000	0.0	91.7
7 分担金及び負担金	835,043	-	-	-	850	19,410	-	855,303	0.1	1,036,746	0.2	82.5
8 使用料及び手数料	5,995,470	-	-	-	-	20,480	-	6,015,950	0.9	6,170,179	0.9	97.5
9 国庫支出金	92,453,185	2,000,000	3,010,585	3,007,651	11,492,231	12,542,910	2,216,500	126,723,062	19.5	152,040,262	22.1	83.3
10 財産収入	400,230	-	-	-	-	-	-	400,230	0.1	534,875	0.1	74.8
11 寄附金	85,540	-	-	-	-	-	-	85,540	0.0	115,935	0.0	73.8
12 繰入金	11,105,105	-	-	-	225,108	-	-	11,330,213	1.8	11,877,187	1.7	95.4
13 繰越金	1	-	-	-	-	-	-	1	0.0	1	0.0	100.0
14 諸収入	103,684,298	-	-	-	-	-	-	103,684,298	15.9	92,354,671	13.4	112.3
15 県 債	82,254,300	-	-	-	7,400	4,358,300	-	86,620,000	13.3	97,918,700	14.2	88.5
計	612,021,272	2,000,000	3,010,585	3,007,651	11,725,589	17,540,943	2,216,500	651,522,540	100.0	688,037,919	100.0	94.7

第7-1表 令和3年度一般会計歳出（款別）予算の状況

（単位：千円）

区分	令和3年度										令和2年度	
	当初予算	4月補正	4月専決	5月専決	6月補正	9月補正	9月補正（追加）	9月末現計 (A)	構成比 (%)	9月末現計 (B)	構成比 (%)	(A)/(B)
												(%)
1 議 費	1,281,677	-	-	-	-	-	-	1,281,677	0.2	1,283,534	0.2	99.9
2 総 費	31,498,183	-	-	-	-	-	-	31,498,183	4.8	31,247,483	4.5	100.8
3 民 費	78,276,416	-	-	-	250,484	4,282,652	-	82,809,552	12.7	94,995,904	13.8	87.2
4 衛 費	31,341,577	-	-	-	6,255,164	-	-	37,596,741	5.8	36,669,233	5.3	102.5
5 労 費	1,370,325	-	-	-	18,969	19,875	-	1,409,169	0.2	1,640,579	0.2	85.9
6 農林水産業費	24,061,681	-	-	-	-	262,820	-	24,324,501	3.7	27,252,014	4.0	89.3
7 商 工 費	107,194,421	2,000,000	3,010,585	3,007,651	4,967,614	2,021,470	2,216,500	124,418,241	19.1	110,592,797	16.1	112.5
8 土 木 費	72,064,089	-	-	-	8,500	10,954,126	-	83,026,715	12.7	104,915,798	15.2	79.1
9 警 察 費	28,207,940	-	-	-	224,858	-	-	28,432,798	4.4	29,117,668	4.2	97.6
10 教 育 費	109,587,509	-	-	-	-	-	-	109,587,509	16.8	121,484,681	17.7	90.2
11 災 害 復 旧 費	9,244,407	-	-	-	-	-	-	9,244,407	1.4	9,147,444	1.3	101.1
12 公 債 費	72,048,518	-	-	-	-	-	-	72,048,518	11.1	72,363,042	10.5	99.6
13 諸 支 出 金	45,644,529	-	-	-	-	-	-	45,644,529	7.0	47,127,742	6.8	96.9
14 予 備 費	200,000	-	-	-	-	-	-	200,000	0.0	200,000	0.0	100.0
計	612,021,272	2,000,000	3,010,585	3,007,651	11,725,589	17,540,943	2,216,500	651,522,540	100.0	688,037,919	100.0	94.7

第7-2表 令和3年度一般会計歳出（性質別）予算の状況

(単位：千円)

性質別	区分		令和3年度（9月末現計）		令和2年度（9月末現計）		比較	
	予算額(A)	構成比(%)	予算額(B)	構成比(%)	(A) - (B)	(A)/(B) (%)		
1 消費的経費	355,261,301	54.5	365,047,806	53.1	▲9,786,505	97.3		
(1) 人件費	136,348,056	20.9	138,903,448	20.2	▲2,555,392	98.2		
(2) 物件費	18,120,948	2.8	20,285,185	2.9	▲2,164,237	89.3		
(3) 維持補修費	4,061,961	0.6	3,470,874	0.5	591,087	117.0		
(4) 扶助費	19,301,827	3.0	18,930,760	2.8	371,067	102.0		
(5) 補助費等	177,428,509	27.2	183,457,539	26.7	▲6,029,030	96.7		
2 投資的経費	118,311,125	18.2	155,296,488	22.6	▲36,985,363	76.2		
(1) 普通建設事業費	109,066,718	16.7	146,149,044	21.2	▲37,082,326	74.6		
補助	71,728,642	11.0	95,134,031	13.8	▲23,405,389	75.4		
単独	24,505,543	3.8	37,744,446	5.5	▲13,238,903	64.9		
国直轄	12,832,533	2.0	13,270,567	1.9	▲438,034	96.7		
(2) 災害復旧事業費	9,244,407	1.5	9,147,444	1.3	96,963	101.1		
補助	8,904,407	1.4	8,437,469	1.2	466,938	105.5		
単独	340,000	0.1	340,000	0.0	-	100.0		
国直轄	-	-	369,975	0.1	▲369,975	皆減		
(3) 失業対策事業費	-	-	-	-	-	-		
3 公債費	71,981,075	11.0	72,300,070	10.5	▲318,995	99.6		
4 積立金	2,452,708	0.4	1,580,812	0.2	871,896	155.2		
5 投資及び出資金	-	-	-	-	-	-		
6 貸付金	96,694,854	14.8	86,919,042	12.6	9,775,812	111.2		
7 繰出金	6,621,477	1.0	6,693,701	1.0	▲72,224	98.9		
8 予備費	200,000	0.0	200,000	0.0	-	100.0		
合計	651,522,540	100.0	688,037,919	100.0	▲36,515,379	94.7		

第8表 令和3年度特別会計予算の状況

(単位：千円)

区分 会計名	令和3年度							令和2年度		
	当初予算	4月補正	4月専決	5月専決	6月補正	9月補正	9月補正(追加)	9月末現計(A)	9月末現計(B)	(A)/(B) (%)
農林水産振興資金	218,425	-	-	-	-	-	-	218,425	277,974	78.6
中小企業振興資金	172,366	-	-	-	-	-	-	172,366	547,131	31.5
母子父子寡婦福祉資金	184,834	-	-	-	-	-	-	184,834	201,195	91.9
修学奨励金	230,391	-	-	-	-	-	-	230,391	244,846	94.1
職員住宅	190,044	-	-	-	-	-	-	190,044	190,489	99.8
国民健康保険	104,544,399	-	-	-	-	-	-	104,544,399	102,063,278	102.4
県営競輪事業	15,320,937	-	-	-	-	-	-	15,320,937	17,573,658	87.2
県営港湾施設管理	509,824	-	-	-	-	-	-	509,824	967,725	52.7
市町村振興資金	841,541	-	-	-	-	-	-	841,541	851,418	98.8
自動車税証紙	807,000	-	-	-	-	-	-	807,000	1,272,000	63.4
用地取得事業	4,838,516	-	-	-	-	-	-	4,838,516	4,017,225	120.4
公債管理	105,151,054	-	-	-	-	-	-	105,151,054	114,771,296	91.6
計	233,009,331	-	-	-	-	-	-	233,009,331	242,978,235	95.9

※流域下水道事業は、令和元年度から地方公営企業法の適用により公営企業会計に移行。

Ⅲ 県債及び一時借入金の状況

1 県債について

令和2年度末の県債の現在高は、一般会計で1兆488億1,711万7千円、特別会計で248億5,776万6千円、その合計額は、1兆736億7,488万3千円となっています。

区分ごとの現在高は第9表のとおりです。

第9表 県債現在高の状況

(一般会計)		(特別会計)	(単位：千円)
区 分	令和2年度末 現 在 高	区 分	令和2年度末 現 在 高
1 普通債	632,304,629	農林水産振興資金 特別会計	33,434
(1) 土木	473,439,785	中小企業振興資金 特別会計	3,659,983
(2) 農林水産	55,777,879	母子父子寡婦福祉資金 特別会計	563,415
(3) 教育	29,127,734	県営港湾施設管理 特別会計	664,002
(4) 公営住宅	5,164,620	用地取得事業 特別会計	3,576,003
(5) その他	68,794,612	県立こころの医療センター 事業会計	3,524,972
2 災害復旧	17,262,128	土地造成事業会計	3,706,000
(1) 土木	17,120,890	流域下水道事業会計	9,129,956
(2) 農林水産	99,393		
(3) 教育	0		
(4) その他	41,844		
3 その他	399,250,360	合 計	24,857,766
(1) 特別地方債	0		
(2) 減税補填債	4,378,446		
(3) 退職手当債	24,660,140		
(4) 臨時財政対策債	367,073,693		
(5) 減収補填債	3,138,081		
合 計	1,048,817,117		

2 一時借入金について

一時借入金は、会計年度中に一時的に収支の不均衡を生じ、歳計現金が不足した場合に、その資金の不足を補うため借り入れるものです。したがって、一時借入金は、その会計年度の歳入で返済します。

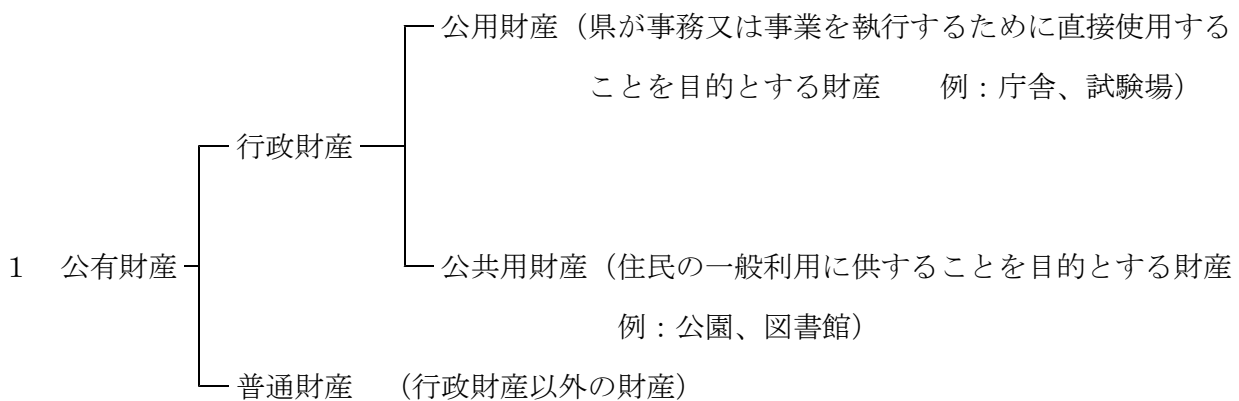
令和3年度における一般会計の一時借入金の最高額は800億円で、9月末現在の借入は0円です。

IV 県有財産の状況

県は、県民福祉を増進するための行政に必要な庁舎、県立学校、県営住宅、公園、山林、その他の施設の土地、建物のほか、有価証券、基金など、いろいろな財産を所有し、それぞれの目的により、もっとも効果的な運用を図るよう努めています。

令和2年度末において、県が所有する財産は次頁のとおりです。

なお、県が所有する財産は次のように分類されます。



2 物 品 (例：備品、消耗品)

3 債 権 (金銭の給付を請求し得る権利 例：貸付金)

4 基 金 (特定目的のために維持管理する財産であり、設置の目的により、次の2種に区分される)

(1) 財産を維持し、又は資金を積み立てるための基金

(2) 定額の資金を運用することにより特定の事務又は事業を行うための基金

1 公有財産

(1) 土地・建物

(単位: m²)

区 分	土 地			建 物		
	令和元年度末 現 在 高	令和2年度中 増 減 高	令和2年度末 現 在 高	令和元年度末 現 在 高	令和2年度中 増 減 高	令和2年度末 現 在 高
行政財産						
本庁舎	27,946.27	2,577.18	30,523.45	43,114.58	2,570.60	45,685.18
その他の 行政機関	警察(消防)施設	3,085.31	230,426.96	115,004.33	1,223.99	116,228.32
	その他施設	▲1,547.26	948,819.72	139,966.04	1,366.87	141,332.91
公共用 財 産	学 校	▲721.00	1,760,880.13	579,854.15	666.22	580,520.37
	公営住宅	-	410,499.85	328,402.43	▲2,075.52	326,326.91
公 園	公 園	43.00	5,856,240.74	51,678.56	-	51,678.56
	その他の施設	22,256.37	3,203,908.35	250,046.31	19.24	250,065.55
山 林	5,103,919.73	1,025,815.00	6,129,734.73	-	-	-
公舎住宅	76,575.45	▲1,127.00	75,448.45	38,017.10	3,761.88	41,778.98
小 計	17,596,100.78	1,050,381.60	18,646,482.38	1,546,083.50	7,533.28	1,553,616.78
普通財産						
廃道敷地	19,080.48	-	19,080.48	-	-	-
廃川敷地	53,476.83	▲506.06	52,970.77	-	-	-
埋立地	6,886.39	-	6,886.39	-	-	-
一般県有	988,555.26	▲12,396.74	976,158.52	22,534.91	1,049.44	23,584.35
小 計	1,067,998.96	▲12,902.80	1,055,096.16	22,534.91	1,049.44	23,584.35
合 計	18,664,099.74	1,037,478.80	19,701,578.54	1,568,618.41	8,582.72	1,577,201.13

(2) 山林

区 分	面 積 (m ²)			立木の推定蓄積量 (m ³)		
	令和元年度末 現 在 高	令和2年度中 増 減 高	令和2年度末 現 在 高	令和元年度末 現 在 高	令和2年度中 増 減 高	令和2年度末 現 在 高
所 有	5,103,919.73	1,025,815.00	6,129,734.73	54,324.23	530.00	54,854.23
分 収	22,992,657.00	343,577.00	23,336,234.00	1,598,659.00	17,825.00	1,616,484.00
その他の権原 によるもの	594,319.00	-	594,319.00	4,862.30	-	4,862.30
合 計	28,690,895.73	1,369,392.00	30,060,287.73	1,657,845.53	18,355.00	1,676,200.53

(3) 動産

区 分	令和元年度末 現在高	令和2年度中 増減高	令和2年度末 現在高
船 舶	3 隻 176.00総トン	- 9.00総トン	3 隻 185.00総トン
航 空 機	1 機	-	1 機
浮 標	-	-	-
浮 棧 橋	4 個	-	4 個

(4) 物権

区 分	令和元年度末 現在高	令和2年度中 増減高	令和2年度末 現在高
地 上 権	23,586,976.00㎡	343,577.00㎡	23,930,553.00㎡
地 役 権	770.18㎡	-	770.18㎡
ダム使用権	1,990,000.00㎡	-	1,990,000.00㎡

(5) 無体財産権

(件)

区 分	令和元年度末 現在高	令和2年度中 増減高	令和2年度末 現在高
特 許 権	41	▲4	37
実用新案権	-	-	-
商 標 権	1	-	1
著 作 権	25	-	25
育 成 者 権	17	-	17
営 業 秘 密	1	1	2

(6) 有価証券

(単位:千円)

区 分	令和元年度末 現在高	令和2年度中 増減高	令和2年度末 現在高
株 券	12,782,000	-	12,782,000

(7) 出資による権利

(単位:千円)

区 分	令和元年度末 現在高	令和2年度中 増減高	令和2年度末 現在高
出 資 金	61,387,346	▲ 98,143	61,289,203
出 捐 金	10,939,150	▲ 5,000	10,934,150
株 式	132,638	-	132,638

2 物品

区 分	令和元年度末 現 在 高	令和2年度中 増 減 高	令和2年度末 現 在 高
自 動 車	1,129	9	1,138
舟	43	-	43
機 械 器 具 類	2,424	▲16	2,408
そ の 他	1,857	40	1,897
合 計	5,453	33	5,486

3 債権

(単位:千円)

区 分	令和元年度末 現 在 高	令和2年度中 増 減 高	令和2年度末 現 在 高
貸 付 金 等	49,992,263	295,847	50,288,110

4 基金

(単位:千円)

区 分	令和元年度末 現 在 高	令和2年度中 増 減 高	令和2年度末 現 在 高
財政調整基金	3,106,480	242	3,106,722
県債管理基金	17,787,088	1,274	17,788,362
土地開発基金	17,849,733	-	17,849,733
福祉対策等基金	8,372,183	▲2,604,511	5,767,672
地域振興基金	2,342,578	▲733,819	1,608,759
文化振興基金	-	-	-
災害救助基金	304,696	▲9,137	295,559
愛の基金	96,385	▲28	96,357
こどもの交通安全基金	8,014	▲312	7,702
青少年文庫基金	37,509	▲997	36,512
自然保護基金	181,966	▲9,155	172,811
地域環境保全基金	1,271,253	▲59,974	1,211,279
森林整備担い手基金	651,957	▲44,904	607,053
中山間ふるさと・水と土保全基金	1,046,313	▲15,152	1,031,161
産業開発基金	7,217,298	▲1,421,464	5,795,834
企業立地促進資金貸付基金	-	-	-
県庁舎及び議会棟等整備基金	1,612,054	120	1,612,174
介護保険財政安定化基金	1,483,570	▲2,906	1,480,664
県営競輪施設整備等基金	671,965	50	672,015
県営港湾施設管理特別会計財産減価償却基金	169,299	12	169,311
和歌山下津港環境整備等基金	19,185	1	19,186
森林整備地域活動支援基金	228,361	▲6,905	221,456
研究開発推進基金	468,148	▲123,292	344,856
紀の国森づくり基金	349,384	▲13,218	336,166
後期高齢者医療財政安定化基金	2,350,997	174	2,351,171
ふるさと和歌山応援基金	88,524	306,950	395,473

(単位:千円)

区 分	令和元年度末 現 在 高	令和2年度中 増 減 高	令和2年度末 現 在 高
子育て支援対策臨時特例基金	26,126	244,286	270,412
和歌山県国民健康保険財政安定化基金	2,335,314	▲45,022	2,290,293
和歌山県地域医療介護総合確保基金	5,166,190	▲881,378	4,284,812
農業構造改革支援基金	438,156	▲45,351	392,805
スポーツ振興基金	-	-	-
和歌山県中核産業人材確保強化基金	-	-	-
和歌山県森林環境譲与税活用基金	5,005	7,201	12,206
ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策基金	-	66,993	66,993
合 計	75,685,731	▲5,390,222	70,295,509

V 企業会計の業務状況

1 和歌山県立こころの医療センター事業会計

県立こころの医療センターの令和2年度の決算概要及び令和3年度上半期(令和3年4月1日から令和3年9月30日まで)の業務状況は、次のとおりです。

(1) 令和2年度決算

令和2年度末の許可病床数は、300床(精神科300床)です。

入院患者数は、延57,073人(1日平均156人)、病床利用率は、52.1%となりました。

また、前年度に比較すると第1表のとおり入院患者で6,411人の減少、外来患者で688人の増加となりました。

第1表

(単位:人)

区分 年度	入 院		外 来		計	
	延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数
令和2年度	57,073	156	22,870	94	79,943	250
令和元年度	63,484	174	22,182	92	85,666	266
増 減	▲ 6,411	▲ 18	688	2	▲ 5,723	▲ 16

令和2年度における収益的収支は、事業収益22億5,286万3千円、同費用20億3,044万4千円で差引2億2,241万9千円となり、利益剰余金において純利益は2億2,241万9千円となり、翌年度繰越欠損金は6億5,966万5千円となりました。

第2表 令和2年度決算状況

(1) 収益的収入及び支出

収入

区分	予 算 額					決算額	予比額の増減	備考
	当 予 算 額	初 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業第3 法第24条第3項の規定に係 る支出額に充 てる財源充当額				
				小 計	計			
第1款 病院事業収益	2,261,682,000	2,261,682,000	▲ 5,361,000	-	2,256,321,000	2,252,863,329	▲ 3,457,671	
第1項 医療収益	1,253,351,000	1,253,351,000	▲ 54,188,000	-	1,199,163,000	1,198,912,360	▲ 250,640	
第2項 医療外収益	1,008,331,000	1,008,331,000	38,427,000	-	1,046,758,000	1,043,550,969	▲ 3,207,031	
第3項 特別利益	-	-	10,400,000	-	10,400,000	10,400,000	-	

(単位:円)

支出

区分	予 算 額					決算額	地方公営企業第26 法第2項の規 定による繰 越額	備考	
	当 予 算 額	補 正 予 算 額	予備費 支出額	流 用 増 減 額	地方公営企業第26 法第2項の規 定による繰 越額				
					小 計				合 計
第1款 病院事業費用	2,072,809,000	▲ 5,566,000	-	-	2,067,243,000	2,030,444,216	-	36,798,784	
第1項 医療費用	2,006,527,000	▲ 12,674,000	-	-	1,993,853,000	1,957,541,024	-	36,311,976	
第2項 医療外費用	66,182,000	▲ 3,292,000	-	-	62,890,000	62,503,192	-	386,808	
第3項 特別損失	-	10,400,000	-	-	10,400,000	10,400,000	-	-	
第4項 予備費	100,000	-	-	-	100,000	-	-	100,000	

(単位:円)

(2)資本的収入及び支出

収入

区分	予算額					決算額	予算額に 比 べ の 増 減	備考	
	当 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	高第6号 地方企業に よる繰上 当					合 計
				地方企業に よる繰上 当	高第6号 地方企業に よる繰上 当				
第1款 資本的収入	379,137,000	55,216,000	434,353,000	-	-	452,053,000	▲ 1,600,000		
第1項 他会計負担金	344,537,000	53,213,000	397,750,000	-	-	397,750,000	-		
第2項 企業債	34,600,000	100,000	34,700,000	17,700,000	-	52,400,000	▲ 1,600,000		
第3項 国庫補助金	-	1,903,000	1,903,000	-	-	1,903,000	-		

支出

区分	予算額					決算額	翌年度繰越額		備考	
	当 予 算 額	補 正 予 算 額	流 用 増 減 額	小 計	高第6号 地方企業に よる繰上 当		合 計	高第6号 地方企業に よる繰上 当		合 計
第1款 資本的支出	386,368,000	55,216,000	-	441,584,000	-	457,656,932	-	1,654,068		
第1項 建設改良費	36,895,000	55,216,000	-	92,111,000	17,727,000	108,184,139	-	1,653,861		
第2項 企業債償還金	349,473,000	-	-	349,473,000	-	349,472,793	-	207		

第3表

令和2年度和歌山県立こころの医療センター事業会計損益計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:円)

1.	医	業	収	益												
	(1)	入	院	収	益	1,039,904,185										
	(2)	外	来	収	益	154,962,165										
	(3)	そ	の	他	医	業	収									
					益	<u>4,046,010</u>	1,198,912,360									
2.	医	業	費	用												
	(1)	給	与	費		1,379,443,733										
	(2)	材	料	費		82,614,691										
	(3)	経		費		324,392,544										
	(4)	減	価	償	却	費	168,486,987									
	(5)	資	産	減	耗	費	1,501,616									
	(6)	研	究	研	修	費	<u>1,101,453</u>	<u>1,957,541,024</u>								
		医	業	損	失		758,628,664									
3.	医	業	外	収	益											
	(1)	患	者	外	給	食	収									
					益	2,950										
	(2)	国	庫	補	助	金	2,850,000									
	(3)	他	会	計	負	担	金	675,343,431								
	(4)	長	期	前	受	金	戻	入	14,657,558							
	(5)	そ	の	他	医	業	外	収								
					益	<u>350,697,030</u>	1,043,550,969									
4.	医	業	外	費	用											
	(1)	支	払	利	息	及	び	企	業	債	取	扱	諸	費	57,664,363	
	(2)	雑		損		失	<u>4,838,829</u>	<u>62,503,192</u>	<u>981,047,777</u>							
		経		常		利			222,419,113							
5.	特			別		利										
	(1)	そ	の	他	特	別	利	益	<u>10,400,000</u>	10,400,000						
6.	特			別		損										
	(1)	そ	の	他	特	別	損	失	<u>10,400,000</u>	<u>10,400,000</u>	<u>0</u>					
		当	年	度	純	利	益			222,419,113						
		前	年	度	繰	越	欠	損	金	<u>882,084,038</u>						
		当	年	度	未	処	理	欠	損	金	<u><u>659,664,925</u></u>					

第4表

令和2年度和歌山県立こころの医療センター事業貸借対照表

(令和3年3月31日)

(単位:円)

		資 産 の 部	
1.	固 定 資 産		
	(1) 有 形 固 定 資 産		
	イ 土 地		26,876,061
	ロ 建 物	7,383,108,844	
	建物減価償却累計額	<u>▲ 4,759,981,526</u>	2,623,127,318
	ハ 構 築 物	619,344,804	
	構築物減価償却累計額	<u>▲ 374,811,075</u>	244,533,729
	ニ 器 械 備 品	621,894,085	
	器械備品減価償却累計額	<u>▲ 402,372,746</u>	219,521,339
	ホ 車 輜	7,663,956	
	車輜減価償却累計額	<u>▲ 4,166,591</u>	3,497,365
	ヘ リ ー ス 資 産	17,144,736	
	リース資産減価償却累計額	<u>▲ 10,895,350</u>	6,249,386
	ト 建 設 仮 勘 定		<u>3,608,000</u>
	有形固定資産合計		3,127,413,198
	(2) 無 形 固 定 資 産		
	イ 電 話 加 入 権		<u>134,760</u>
	無形固定資産合計		<u>134,760</u>
	固定資産合計		3,127,547,958
2.	流 動 資 産		
	(1) 現 金 預 金		50,485,143
	(2) 未 収 金		230,392,697
	(3) 貸 倒 引 当 金		9,673,199
	(4) 貯 蔵 品		<u>17,358,495</u>
	流動資産合計		<u>288,563,136</u>
	資 産 合 計		<u><u>3,416,111,094</u></u>

		負 債 の 部	
3.	固 定 負 債		
	(1) 企 業 債	3,175,271,978	
	(2) リ ー ス 債 務	<u>4,108,657</u>	
	固 定 負 債 合 計		3,179,380,635
4.	流 動 負 債		
	(1) 企 業 債	349,700,385	
	(2) リ ー ス 債 務	2,086,393	
	(3) 未 払 金	69,503,894	
	(4) 引 当 金	87,906,016	
	(5) そ の 他 流 動 負 債	<u>8,759,576</u>	
	流 動 負 債 合 計		517,956,264
5.	繰 延 収 益		
	(1) 長 期 前 受 金	869,588,833	
	(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	<u>557,862,371</u>	
	繰 延 収 益 合 計		<u>311,726,462</u>
	負 債 合 計		4,009,063,361
		資 本 の 部	
6.	資 本 金		
	(1) 自 己 資 本 金	<u>64,212,658</u>	
	資 本 金 合 計		64,212,658
7.	剰 余 金		
	(1) 資 本 剰 余 金		
	イ 受 贈 財 産 評 価 額	<u>2,500,000</u>	
	資 本 剰 余 金 合 計		2,500,000
	(2) 利 益 剰 余 金		
	イ 当 年 度 未 処 理 欠 損 金	<u>659,664,925</u>	
	利 益 剰 余 金 合 計		<u>▲ 659,664,925</u>
	剰 余 金 合 計		<u>▲ 657,164,925</u>
	資 本 合 計		<u>▲ 592,952,267</u>
	負 債 ・ 資 本 合 計		<u><u>3,416,111,094</u></u>

(2) 令和3年度上半期の事業及び経理状況等

ア 病床数及び利用患者数

令和3年9月30日現在の許可病床数は300床(精神科300床)です。

利用患者数については、前年度上半期の入院延患者数28,264人に対し、当年度上半期の入院延患者数は29,403人で対前年度比104.0%、また前年度上半期の外来延患者数11,332人に対し、当年度上半期の外来延患者数は11,928人で対前年度比105.3%となっています。

なお、その状況は、第5表のとおりです。

第5表 患者利用状況

(単位:人)

区分 月別	入 院		外 来		計	
	延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数
令和3年 4月	4,608	154	2,026	96	6,634	250
令和3年 5月	5,192	167	1,779	99	6,971	266
令和3年 6月	5,165	172	2,020	92	7,185	264
令和3年 7月	4,904	158	2,045	102	6,949	260
令和3年 8月	4,821	156	2,031	97	6,852	253
令和3年 9月	4,713	157	2,027	101	6,740	258
計	29,403	161	11,928	98	41,331	259
前 年 同 期	28,264	154	11,332	93	39,596	247
前年同期との比較	1,139	7	596	5	1,735	12

イ 経理の状況

収益的収支予算における収入は、医業収益及び県費負担金を含む医業外収益で執行率は、54.8%、支出は給与費・材料費等の医業費用及び企業債利息等の医業外費用で執行率は、41.1%です。

資本的収支予算における収入は、県費負担金で執行率は、28.6%、支出は建設改良費及び企業債償還金で執行率は、28.6%です。

その状況は第6表のとおりです。

第6表 令和3年度予算執行状況(4月～9月)

(1) 収益的収支及び支出

収入

(単位:千円)

区 分	予 算 額			執 行 額 (B)	執 行 率 (B) / (A) %
	補正前の額	補 正 額	計 (A)		
1 病院事業収益	2,236,198	-	2,236,198	1,226,464	54.8
(1) 医業収益	1,175,401	-	1,175,401	653,921	55.6
ア入院収益	1,015,498	-	1,015,498	563,500	55.5
イ外来収益	156,164	-	156,164	82,055	52.5
ウその他医業収益	3,739	-	3,739	8,366	223.7
(2) 医業外収益	1,060,797	-	1,060,797	572,543	54.0
ア患者外給食収益	4	-	4	2	50.0
イ他会計負担金	690,570	-	690,570	568,496	82.3
ウ長期前受金戻入	14,366	-	14,366	-	0.0
エその他医業外収益	355,857	-	355,857	4,045	1.1

支 出

(単位:千円)

区 分	予 算 額			執 行 額 (B)	執 行 率 (B) / (A) %
	補正前の額	補 正 額	計 (A)		
1 病院事業費用	2,045,919	-	2,045,919	840,431	41.1
(1) 医業費用	1,988,321	-	1,988,321	803,777	40.4
ア 病院経営費	1,819,398	-	1,819,398	803,777	44.2
給 料	657,350	-	657,350	330,791	50.3
手 当	405,311	-	405,311	152,440	37.6
賞与引当金繰入	89,609	-	89,609	-	0.0
費用弁償	178	-	178	-	0.0
報 酬	4,806	-	4,806	3,053	63.5
法定福利費	235,499	-	235,499	112,636	47.8
報 償 金	3,628	-	3,628	1,705	47.0
材 料 費	88,598	-	88,598	43,851	49.5
消 耗 品 費	74,756	-	74,756	39,649	53.0
修 繕 費	14,076	-	14,076	4,934	35.1
賃 借 料	1,749	-	1,749	840	48.0
研 究 研 修 費	2,854	-	2,854	273	9.6
諸 費	240,984	-	240,984	113,605	47.1
イ 減 価 償 却 費	168,489	-	168,489	-	0.0
ウ 資 産 減 耗 費	434	-	434	-	0.0
(2) 医業外費用	57,498	-	57,498	36,654	63.7
ア 支払利息及び 企業債取扱諸費	52,998	-	52,998	27,696	52.3
イ 患者外給食材料	-	-	-	-	0.0
ウ 雑 損 失	4,500	-	4,500	8,958	199.1
(3) 特 別 損 失	-	-	-	-	0.0
過年度損益修正	-	-	-	-	0.0
(4) 予 備 費	100	-	100	-	0.0
予 備 費	100	-	100	-	0.0

(2)資本的収支及び支出

収 入

(単位:千円)

区 分	予 算 額			執 行 額 (B)	執 行 率 (B)／(A)
	補正前の額	補 正 額	計 (A)		
1 資 本 的 収 入	633,808	-	633,808	181,504	% 28.6
(1) 企 業 債	213,700	-	213,700	-	0.0
(2) 他会計負担金	420,108	-	420,108	181,504	43.2

支 出

(単位:千円)

区 分	予 算 額			執 行 額 (B)	執 行 率 (B)／(A)
	補正前の額	補 正 額	計 (A)		
1 資 本 的 支 出	633,808	-	633,808	181,504	% 28.6
(1) 建 設 改 良 費	284,107	-	284,107	7,256	2.6
ア 病 院 増 改 築 工 事 費	265,085	-	265,085	-	0.0
イ 資 産 購 入 費	19,022	-	19,022	7,256	38.1
(2) 企 業 債 償 還	349,701	-	349,701	174,248	49.8
元 金	349,701	-	349,701	174,248	49.8

2 和歌山県工業用水道事業会計

工業用水道事業の令和2年度の決算及び令和3年度上半期（令和3年4月1日から令和3年9月30日まで）の業務状況の概要は、次のとおりです。

(1) 令和2年度の決算

ア 事業の状況

令和2年度の決算における有田川工業用水道及び紀の川工業用水道の年間給水量は、56,036,193立方メートルで、基本使用水量に対し100.2%となりました。
なお、各事業所別の年間給水量及び料金収入は、第1表のとおりです。

第1表 令和2年度給水量及び料金収入状況

区 分		令和2年度	令和元年度	比 較	
				増 減	比 率(%)
有田川 第一	給水量 (m ³)	2,190,000	2,196,000	▲6,000	99.7
	料 金 (円)	23,433,000	23,497,200	▲64,200	99.7
有田川 第三	給水量 (m ³)	24,820,000	24,888,000	▲68,000	99.7
	料 金 (円)	275,502,000	276,256,800	▲754,800	99.7
紀の川 第二	給水量 (m ³)	29,026,193	29,670,673	▲644,480	97.8
	料 金 (円)	340,411,562	348,208,887	▲7,797,325	97.8
合 計	給水量 (m ³)	56,036,193	56,754,673	▲718,480	98.7
	料 金 (円)	639,346,562	647,962,887	▲8,616,325	98.7

(注) 給水量とは基本使用水量と超過水量との合計量をいう。また、料金は、消費税及び地方消費税抜きの金額である。

イ 決算の状況

決算の概要は、第2表のとおりです。

令和2年度における収益的収支は、給水料金を主に総収益8億710万5千円で、これに対し各事業所の管理運営費及び一般管理費等の費用に6億1,488万9千円を要しました。資本的収支における支出は、建設改良費です。

なお、損益計算書及び貸借対照表は、それぞれ第3表及び第4表のとおりです。

第2表 令和2年度決算状況

(1) 収益的収入及び支出

(単位：円)

区分	予 算 額				決算額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条第3項の規定に係る支出額に係る財源充当額	合計			
第1款 工業用水道事業収益	852,982,000	—	—	852,982,000	807,104,932	▲45,877,068	
第1項 営業収益	713,792,000	—	—	713,792,000	703,281,180	▲10,510,820	うち仮受消費税 63,934,618円
第2項 営業外収益	126,939,000	—	—	126,939,000	103,135,462	▲23,803,538	うち仮受消費税 6,462,505円
第3項 特別利益	12,251,000	—	—	12,251,000	688,290	▲11,562,710	

支 出

(単位：円)

区分	予 算 額					決算額	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	不 用 額	備 考
	当初予算額	補 算 額	正 算 額	費用増減額	小 計				
第1款 工業用水道事業費用	837,945,000	▲19,007,000	—	—	818,938,000	614,889,231	—	204,048,769	
第1項 営業費用	749,129,000	▲19,007,000	—	—	730,122,000	596,491,117	—	133,630,883	うち仮払消費税 20,368,191円
第2項 営業外費用	64,262,000	—	—	—	64,262,000	17,248,059	—	47,013,941	うち仮払消費税 694,148円
第3項 特別損失	19,554,000	—	—	—	19,554,000	1,150,055	—	18,403,945	うち支払消費税 (前払金)
第4項 予備費	5,000,000	—	—	—	5,000,000	—	—	5,000,000	10,511,742円

(2) 資本的収入及び支出
収 入

(単位：円)

区 分	予 算 額					決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	小 計	継続費、通次繰 越額に係る財 源充当額				
				地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額に係 る財源充当額	合計			
第1款 資本的収入	2,521,000	11,200,000	13,721,000	—	—	2,477,258	▲11,243,742	
第1項 国庫補助金	—	11,200,000	11,200,000	—	—	—	▲11,200,000	
第2項 固定資産売却 代金	2,521,000	—	2,521,000	—	—	2,477,258	▲43,742	

支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額					翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	備 考		
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	小 計				地方公営企業法第26条 の規定による繰 越額	継続費、通次繰 越額
第1款 資本的支出	599,367,000	—	—	—	599,367,000	—	—	229,701,779		
第1項 建設改良費	589,367,000	—	—	—	589,367,000	—	—	219,701,779		
第2項 予備費	10,000,000	—	—	—	10,000,000	—	—	10,000,000		
					427,077,361	656,779,140	—	—		
					427,077,361	646,779,140	—	—		
					—	10,000,000	—	—		

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額424,600,103円は、建設改良積立金70,000,000円、消費税資本的収支調整額38,823,042円、過年度分損益勘定留保資金315,777,061円で補填した。

第3表

令和2年度和歌山県工業用水道事業損益計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

1	営業収益			
	(1) 給水収益	564,244,496		
	(2) 営業雑収益	<u>75,102,066</u>	639,346,562	
2	営業費用			
	(1) 有田川事業費	190,552,182		
	(2) 紀の川事業費	180,577,496		
	(3) 管理センター費	112,009,098		
	(4) 一般管理費	<u>92,978,106</u>	<u>576,116,882</u>	
	営業利益			63,229,680
3	営業外収益			
	(1) 受取利息	402,958		
	(2) 長期前受金戻入	30,765,384		
	(3) 受託事業収益	6,929,905		
	(4) 雑収益	<u>58,574,710</u>	96,672,957	
4	営業外費用			
	(1) 受託事業費	6,929,905		
	(2) 雑損失	<u>17,106</u>	<u>6,947,011</u>	<u>89,725,946</u>
	経常利益			<u>152,955,626</u>
5	特別利益			
	(1) 固定資産売却益	<u>688,290</u>	688,290	
6	特別損失			
	(1) 固定資産売却損	<u>1,150,055</u>	<u>1,150,055</u>	<u>▲461,765</u>
	当年度純利益			152,493,861
	前年度繰越利益剰余金			100,000,000
	その他処分利益剰余金変動額			<u>70,000,000</u>
	当年度未処分利益剰余金			<u><u>322,493,861</u></u>

第4表

令和2年度和歌山県工業用水道事業貸借対照表
(令和3年3月31日)

(単位：円)

		資 産 の 部	
1	固 定 資 産		
	(1) 有 形 固 定 資 産		
	イ 土 地		332,591,933
	ロ 建 物	353,561,521	
	減 価 償 却 累 計 額	<u>▲254,004,085</u>	99,557,436
	ハ 構 築 物	7,643,421,496	
	減 価 償 却 累 計 額	<u>▲4,564,113,637</u>	3,079,307,859
	ニ 機 械 及 び 装 置	1,986,191,855	
	減 価 償 却 累 計 額	<u>▲1,438,658,794</u>	547,533,061
	ホ 車 両 運 搬 具	9,384,327	
	減 価 償 却 累 計 額	<u>▲5,842,230</u>	3,542,097
	ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	15,347,233	
	減 価 償 却 累 計 額	<u>▲13,801,590</u>	1,545,643
	ト 建 設 仮 勘 定		<u>208,289,165</u>
	有 形 固 定 資 産 合 計		4,272,367,194
	(2) 無 形 固 定 資 産		
	イ 電 話 加 入 権		1,058,100
	ロ 施 設 利 用 権		<u>95,680</u>
	無 形 固 定 資 産 合 計		1,153,780
	(3) 投 資 そ の 他 の 資 産		
	イ 長 期 貸 付 金		<u>1,500,000,000</u>
	投 資 そ の 他 の 資 産 合 計		<u>1,500,000,000</u>
	固 定 資 産 合 計		5,773,520,974
2	流 動 資 産		
	(1) 現 金 預 金		2,931,362,479
	(2) 未 収 金		75,274,460
	(3) 貯 蔵 品		644,010
	(4) 前 払 金		<u>0</u>
	流 動 資 産 合 計		<u>3,007,280,949</u>
	資 産 合 計		<u>8,780,801,923</u>

		負債の部		
3	固定負債			
(1)	引当金			
	イ 退職給付引当金		<u>176,879,140</u>	
	引当金合計			<u>176,879,140</u>
	固定負債合計			176,879,140
4	流動負債			
(1)	未払金			34,491,613
(2)	引当金			
	イ 賞与引当金		<u>15,520,000</u>	
	引当金合計			15,520,000
(3)	その他流動負債			<u>697,541</u>
	流動負債合計			50,709,154
5	繰延収益			
(1)	長期前受金			
	イ 受贈財産評価額	306,553,490		
	長期前受金収益化累計額	<u>▲219,746,771</u>	86,806,719	
	ロ 国庫補助金	1,131,936,217		
	長期前受金収益化累計額	<u>▲838,507,963</u>	293,428,254	
	ハ その他長期前受金	775,908,897		
	長期前受金収益化累計額	<u>▲522,247,327</u>	<u>253,661,570</u>	
	長期前受金合計			<u>633,896,543</u>
	繰延収益合計			<u>633,896,543</u>
	負債合計			861,484,837
		資本の部		
6	資本金			
(1)	自己資本金			
	イ 固有資本金		163,543,837	
	ロ 組入資本金		<u>4,539,755,800</u>	<u>4,703,299,637</u>
	資本金合計			4,703,299,637
7	剰余金			

(1) 資 本 剩 余 金		
イ 受 贈 財 産 評 価 額	147,571,960	
ロ 国 庫 補 助 金	54,445,090	
ハ その他資本剰余金	<u>157,842,213</u>	
資本剰余金合計		359,859,263
(2) 利 益 剩 余 金		
イ 利 益 積 立 金	155,800,000	
ロ 建 設 改 良 積 立 金	2,377,864,325	
ハ 当年度未処分利益剰余金	152,493,861	
(建設改良積立金取崩分)	70,000,000	
ニ 過年度未処分利益剰余金	<u>100,000,000</u>	
利益剰余金合計		<u>2,856,158,186</u>
剰 余 金 合 計		<u>3,216,017,449</u>
資 本 合 計		<u>7,919,317,086</u>
負 債 資 本 合 計		<u>8,780,801,923</u>

(2) 令和3年度上半期の事業及び経理の状況

ア 事業の状況

令和3年度上半期の給水実績は24,989,371立方メートル、料金収入は313,617千円で、前年同期と比較して、給水量で113,929立方メートルの増、料金収入で2,470千円の増となっています。

なお、各事業所別の給水量及び料金収入は第5表のとおりです。

第5表 令和3年度上半期給水量及び料金収入（調定）状況

事業所別		月 別							計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
有田川第一	給水量 (m^3)	180,000	186,000	180,000	186,000	186,000	180,000	1,098,000	
	料金 (千円)	2,119	2,189	2,119	2,189	2,189	2,119	12,923	
有田川第三	給水量 (m^3)	2,040,000	2,108,000	2,040,000	2,108,000	2,108,000	2,040,000	12,444,000	
	料金 (千円)	24,908	25,739	24,908	25,739	25,739	24,908	151,941	
紀の川第二	給水量 (m^3)	1,874,493	1,929,780	1,886,438	1,943,526	1,945,506	1,867,628	11,447,371	
	料金 (千円)	24,342	24,998	24,599	25,295	25,337	24,181	148,752	
計	給水量 (m^3)	4,094,493	4,223,780	4,106,438	4,237,526	4,239,506	4,087,628	24,989,371	
	料金 (千円)	51,369	52,926	51,626	53,222	53,265	51,208	313,617	
前年同期	給水量 (m^3)	4,071,000	4,206,700	4,070,536	4,223,824	4,219,271	4,084,111	24,875,442	
	料金 (千円)	50,849	52,544	50,852	52,927	52,829	51,145	311,147	
前年同期 との比較	給水量 (%)	100.6	100.4	100.9	100.3	100.5	100.1	100.5	
	料金 (%)	101.0	100.7	101.5	100.6	100.8	100.1	100.8	

(注) 給水量とは、基本使用水量と超過水量との合計量をいう。また、料金は消費税及び地方消費税込みの金額である。

イ 経理の状況

収益的収支予算における収入は、給水収益が主なもので、支出は、各事業所の管理運営費が主なものです。
資本的収支予算における収入は、企業債等で、支出は、建設改良費です。
なお、予算の執行状況は、第6表のとおりです。

第6表 令和3年度予算執行状況

収益的収入及び支出
収入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額 (B)	(B)/(A) 執 行 率 (%)
	補正前の額	補 正 額	計(A)		
工業用水道事業収益	822,787	—	822,787	325,986	39.6
(1) 営 業 収 益	707,685	—	707,685	296,980	42.0
(2) 営 業 外 収 益	100,258	—	100,258	28,961	28.9
(3) 特 別 利 益	14,844	—	14,844	45	0.3

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額 (B)	(B)/(A) 執 行 率 (%)
	補正前の額	補 正 額	計(A)		
工業用水道事業費用	794,640	—	794,640	221,610	27.9
(1) 営 業 費 用	746,749	—	746,749	218,974	29.3
(2) 営 業 外 費 用	27,373	—	27,373	2,636	9.6
(3) 特 別 損 失	15,518	—	15,518	—	—
(4) 予 備 費	5,000	—	5,000	—	—

資本的収入及び支出
収入

(単位：千円)

区 分	予 算 額				執 行 額 (B)	(B)/(A) 執 行 率 (%)
	補正前の額	補 正 額	繰越額	計(A)		
資本的収入	416,000	—	—	416,000	10,268	2.5
(1) 企 業 債	416,000	—	—	416,000	—	—
(2) 国 庫 補 助 金	—	—	—	—	10,268	—

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額				執 行 額 (B)	(B)/(A) 執 行 率 (%)
	補正前の額	補 正 額	繰越額	計(A)		
資本的支出	929,885	—	—	929,885	432,489	46.5
(1) 建 設 改 良 費	919,885	—	—	919,885	432,489	47.0
(2) 予 備 費	10,000	—	—	10,000	—	—

3 和歌山県土地造成事業会計

土地造成事業の令和2年度決算及び令和3年度上半期（令和3年4月1日から令和3年9月30日まで）の業務状況の概要は、次のとおりです。

(1) 令和2年度の決算

ア 事業の状況

令和2年度の土地造成事業の状況は、以下のとおりです。

御坊工業団地については、総計3社に売却し、用地の早期完売を目指しています。

雑賀崎工業団地については、総計28社に売却し、用地の早期完売を目指しています。

西浜工業団地については、総計54社に売却し、用地の早期完売を目指しています。

日高港工業団地については、総計2社に売却し、用地の早期完売を目指しています。

また、事業用借地制度により、西浜工業団地において6社、日高港工業団地において1社、雑賀崎工業団地において2社、御坊工業団地において1社と契約を交わし、用地の有効利用を図っています。

イ 決算の状況

決算の概要は、第1表のとおりです。

令和2年度における収益的収支は、土地売却収益を主に総収益3億9,080万7千円で、これに対し土地売却原価、時価評価による評価損等の費用に3億1,228万9千円を要しましたので、差引7,851万8千円の純利益となりました。

資本的収支における支出は、企業債償還金が主なものです。

なお、損益計算書及び貸借対照表は、それぞれ第2表及び第3表のとおりです。

第1表 令和2年度決算状況

(1) 収益的収入及び支出
収入

(単位：円)

区	分	予 算 額					決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業 法第24条第3 項の規定によ る支出額に係 る財源充当額	合 計				
					地方公営企業 法第24条第3 項の規定によ る支出額に係 る財源充当額	地方公営企業 法第24条第3 項の規定によ る支出額に係 る財源充当額			
第1款	土地造成事業収益	473,843,000	▲92,757,000	—	—	381,086,000	9,720,892		
第1項	営業収益	296,669,000	▲101,486,000	—	—	195,183,000	1,893		
第2項	営業外収益	177,174,000	8,729,000	—	—	185,903,000	9,718,999		
第3項	特別利益	—	—	—	—	—	—		

支出

(単位：円)

区	分	算 額							決 算 額	地方公 営企業 法第26 条第2 項の規 定によ る繰越 額	備 考		
		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予備費 支出額	流用 増減 額	小 計						合 計	
						地方公営企 業法第24条 第3項の規 定による支 出額	地方公営企 業法第26条 第2項の規 定による繰 越額	地方公営企 業法第26条 第2項の規 定による繰 越額					
第1款	土地造成 事業費用	250,639,000	81,547,000	—	—	—	—	332,186,000	—	—	312,289,184	19,896,816	
第1項	営業費用	245,777,000	▲15,438,000	—	—	—	—	230,339,000	—	—	212,375,348	17,963,652	
第2項	営業外 費用	4,852,000	—	—	—	—	—	4,852,000	—	—	2,929,627	1,922,373	
第3項	特別損 失	10,000	96,985,000	—	—	—	—	96,995,000	—	—	96,984,209	10,791	

(2) 資本的収入及び支出 (単位：円)

区分	予						算			決算額	翌年度繰越額		不 用 額	備 考
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	小計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費繰越額	合計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額		継続費繰越額	合計		
第1款 資本的支出	397,730,000	▲53,000,000	—	—	344,730,000	—	—	344,730,000	307,000,000	—	—	—	37,730,000	
第1項 土地造成費	37,730,000	—	—	—	37,730,000	—	—	37,730,000	—	—	—	—	37,730,000	
第2項 企業債償還金	360,000,000	▲53,000,000	—	—	307,000,000	—	—	307,000,000	307,000,000	—	—	—	—	

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額307,000,000円は、過年度分損益勘定留保資金166,393,564円、当年度分損益勘定留保資金140,606,436円で補填した。

第2表

令和2年度和歌山県土地造成事業損益計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

1	営業収益			
	(1) 土地売却収益	91,729,000		
	(2) 営業雑収益	<u>103,455,893</u>	195,184,893	
2	営業費用			
	(1) 土地売却原価	81,708,394		
	(2) 一般管理費	53,429,777		
	(3) その他営業費用	<u>77,237,177</u>	<u>212,375,348</u>	
	営業損失			17,190,455
3	営業外収益			
	(1) 受取利息	5,368		
	(2) 他会計補助金	157,000,000		
	(3) 長期前受金戻入	4,557,290		
	(4) 雑収益	<u>34,059,341</u>	195,621,999	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息	2,926,530		
	(2) 雑損失	<u>3,097</u>	<u>2,929,627</u>	<u>192,692,372</u>
	経常利益			<u>175,501,917</u>
5	特別損失			
	(1) その他特別損失	<u>96,984,209</u>	<u>96,984,209</u>	<u>96,984,209</u>
	当年度純利益			78,517,708
	前年度繰越欠損金			<u>12,904,800,660</u>
	当年度未処理欠損金			<u>12,826,282,952</u>

第3表

令和2年度和歌山県土地造成事業貸借対照表

(令和3年3月31日)

(単位：円)

		資 産 の 部	
1	固 定 資 産		
	(1) 有 形 固 定 資 産		
	イ 構 築 物	187,542,810	
	減 価 償 却 累 計 額	<u>▲50,130,190</u>	
	有 形 固 定 資 産 合 計		137,412,620
	(2) 無 形 固 定 資 産		
	イ 電 話 加 入 権	<u>74,984</u>	
	無 形 固 定 資 産 合 計		<u>74,984</u>
	固 定 資 産 合 計		137,487,604
2	土 地 造 成		
	(1) 完 成 土 地		2,651,032,515
	(2) 未 成 土 地		<u>31,092,705</u>
	土 地 造 成 合 計		2,682,125,220
3	流 動 資 産		
	(1) 現 金 預 金		279,123,773
	(2) 未 収 金		<u>2,681,305</u>
	流 動 資 産 合 計		<u>281,805,078</u>
	資 産 合 計		<u><u>3,101,417,902</u></u>

		負債の部		
4	固定負債			
(1)	企業債			
	イ 建設改良等に充てた企業債	<u>3,706,000,000</u>		
	企業債合計		3,706,000,000	
(2)	長期借入金			
	イ その他の長期借入金	<u>1,500,000,000</u>		
	長期借入金合計		1,500,000,000	
(3)	引当金			
	イ 退職給付引当金	<u>36,656,893</u>		
	引当金合計		36,656,893	
(4)	その他固定負債		<u>134,332,462</u>	
	固定負債合計			5,376,989,355
5	流動負債			
(1)	未払金		491,597	
(2)	前受金		8,010,727	
(3)	引当金			
	イ 賞与引当金	<u>2,575,000</u>		
	引当金合計		2,575,000	
(4)	その他流動負債		<u>1,166,890</u>	
	流動負債合計			12,244,214
6	繰延収益			
(1)	長期前受金			
	イ 工事負担金	91,267,810		
	長期前受金収益化累計額	<u>▲24,395,887</u>	66,871,923	
	ロ その他長期前受金	96,275,000		
	長期前受金収益化累計額	<u>▲25,734,303</u>	<u>70,540,697</u>	
	長期前受金合計		<u>137,412,620</u>	
	繰延収益合計			<u>137,412,620</u>
	負債合計			5,526,646,189
		資本の部		
7	資本金			
(1)	自己資本金			
	イ 固有資本金	22,855,000		
	ロ 繰入資本金	1,202,000,000		
	ハ 組入資本金	<u>6,084,416,020</u>		
	自己資本金合計		<u>7,309,271,020</u>	
	資本金合計			7,309,271,020
8	剰余金			
(1)	資本剰余金			
	イ 受贈財産評価額	<u>3,091,783,645</u>		
	資本剰余金合計		3,091,783,645	
(2)	利益剰余金			

イ 当年度未処理欠損金	<u>12,826,282,952</u>	
利益剰余金合計		<u>▲12,826,282,952</u>
剰余金合計		<u>▲9,734,499,307</u>
資 本 合 計		<u>▲2,425,228,287</u>
負債資本合計		<u><u>3,101,417,902</u></u>

(2) 令和3年度上半期の事業及び経理の状況

ア 事業の状況

令和3年度上半期の事業の状況は、引き続き用地の早期完売を目指しています。

事業用借地契約については、現在、雑賀崎工業団地で2社、西浜工業団地で6社、日高港工業団地で1社、御坊工業団地で1社と契約を締結しており、用地の有効利用を図っています。

イ 経理の状況

収益的収支予算における収入は、土地売却収益及び他会計補助金が主なもので、支出は土地売却原価が主なものです。

資本的収支予算における支出は企業債償還金が主なものです。

なお、予算の執行状況は、第4表のとおりです。

第4表 令和3年度予算執行状況

収益的収入及び支出
収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額 (B)	(B)/(A) 執 行 率 (%)
	補正前の額	補 正 額	計 (A)		
土地造成事業収益	394,126	—	394,126	259,158	65.8
(1) 営 業 収 益	205,930	—	205,930	56,075	27.2
(2) 営 業 外 収 益	188,196	—	188,196	203,083	107.9

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額 (B)	(B)/(A) 執 行 率 (%)
	補正前の額	補 正 額	計 (A)		
土地造成事業費用	183,802	—	183,802	27,267	14.8
(1) 営 業 費 用	179,703	—	179,703	26,022	14.5
(2) 営 業 外 費 用	4,089	—	4,089	1,246	30.5
(3) 特 別 損 失	10	—	10	—	—

資本的収入及び支出
収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額				執 行 額 (B)	(B)/(A) 執 行 率 (%)
	補正前の額	補 正 額	繰越額	計 (A)		
資 本 的 収 入	1,157,000	—	—	1,157,000	—	—
(1) 企 業 債	1,157,000	—	—	1,157,000	—	—

(単位：千円)

区 分	予 算 額				執 行 額 (B)	(B)/(A) 執 行 率 (%)
	補正前の額	補 正 額	繰越額	計 (A)		
資 本 的 支 出	1,479,230	—	—	1,479,230	—	—
(1) 土 地 造 成 費	32,230	—	—	32,230	—	—
(2) 企 業 債 償 還 金	1,447,000	—	—	1,447,000	—	—

4 和歌山県流域下水道事業会計

流域下水道事業の令和2年度の決算及び令和3年度上半期（令和3年4月1日から令和3年9月30日まで）の業務状況の概要は、次のとおりです。

(1) 令和2年度の決算

ア 事業の状況

令和2年度の決算における紀の川流域下水道(伊都処理区)及び紀の川中流流域下水道(那賀処理区)の年間汚水処理量は、7,291,684立方メートルでした。

なお、各処理区別の流入水量は、第1表のとおりです。

第1表 令和2年度流入水量

区 分		令和2年度	令和元年度	比 較	
				増 減	比 率(%)
伊都処理区	流入水量 (m ³)	4,839,883	4,752,631	87,252	101.8
那賀処理区	流入水量 (m ³)	2,451,801	2,183,637	268,164	112.3
合 計	流入水量 (m ³)	7,291,684	6,936,268	355,416	105.1

イ 決算の状況

決算の概要は、第2表のとおりです。

令和2年度における収益的収支は、維持管理負担金、他会計補助金及び特別利益を主とし総収益72億3,697万9千円で、これに対し、各処理区の処理場管理運営費、企業債利息及び特別損失等の費用に72億7,131万3千円を要しました。

資本的収支における収入は、国庫補助金、他会計補助金、企業債及び建設負担金であり、支出は、建設改良費及び企業債償還金です。

なお、損益計算書及び貸借対照表は、それぞれ第3表及び第4表のとおりです。

第2表 令和2年度決算状況

(1) 収益的収入及び支出

区 分	収入					予 算 額	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考	
	当 予 算 額	初 予 算 額	補 予 算 額	正 予 算 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額					合 計
第1款 流域下水道事業収益	2,801,759,000	2,801,759,000	—	2,169,000	—	2,803,928,000	7,236,979,217	4,433,051,217		
第1項 営業収益	853,430,000	853,430,000	▲38,586,000	▲38,586,000	—	814,844,000	828,633,626	13,789,826	(うち仮受消費税 75,330,320 円)	
第2項 営業外収益	1,948,329,000	1,948,329,000	—	40,755,000	—	1,989,084,000	1,950,478,084	▲38,605,916	(うち仮受消費税 2,736,453 円)	
第3項 特別利益	—	—	—	—	—	—	4,457,867,507	4,457,867,507		

区 分	支出										予 算 額	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考	
	当 予 算 額	初 予 算 額	補 予 算 額	正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額	小 計	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	合 計					地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額
第1款 流域下水道事業費用	2,801,759,000	2,801,759,000	54,951,000	—	—	—	2,856,710,000	—	2,856,710,000	—	7,271,312,861	▲4,414,602,861			
第1項 営業費用	2,543,681,000	2,543,681,000	22,135,000	—	—	—	2,565,816,000	—	2,565,816,000	—	2,532,788,439	33,027,561	(うち仮払消費税 75,236,491 円)		
第2項 営業外費用	258,078,000	258,078,000	▲19,966,000	—	—	—	238,112,000	—	238,112,000	—	191,221,375	46,890,625			
第3項 特別損失	—	—	52,782,000	—	—	—	52,782,000	—	52,782,000	—	4,547,303,047	▲4,494,521,047			

(2) 資本的収入及び支出

(単位：円)

区分	収入						決算額	予算額に比べ 決算額の増減	備考
	予算額			実績額					
	当 予 算 額	補 予 算 額	正 額	小 計	地方公営企業 法第26条の 規定に係る繰 越額に充てる財 源充当額	継続費 繰越額に係る財 源充当額			
第1款 資本的収入	1,365,708,000	123,888,000	1,489,596,000	420,973,250	—	1,910,569,250	▲457,989,033		
第1項 企業債	168,000,000	18,800,000	186,800,000	78,500,000	—	265,300,000	▲90,200,000		
第2項 補助金	1,029,708,000	86,167,000	1,115,875,000	263,880,000	—	1,379,755,000	▲277,583,533		
第3項 負担金	168,000,000	18,921,000	186,921,000	78,593,250	—	265,514,250	▲90,205,500	(うち仮受消費税 15,937,156円)	

(単位：円)

区分	支出						決算額	翌年度繰越額	不用額	備考	
	予算額			実績額							
	当 予 算 額	補 予 算 額	流 用 増 減 額	小 計	地方公営企業 法第26条の 規定による繰 越額	継続費 繰越額					合 計
第1款 資本的支出	1,365,708,000	123,888,000	—	1,489,596,000	420,973,250	—	1,910,569,250	1,452,580,217	456,571,000	1,418,033	
第1項 建設改良費	774,000,000	123,888,000	—	897,888,000	420,973,250	—	1,318,861,250	862,289,750	456,571,000	500	(うち仮払消費税 79,095,767円)
第2項 企業債償還金	591,708,000	—	—	591,708,000	—	—	591,708,000	590,290,467	—	1,417,533	

第3表

令和2年度和歌山県流域下水道事業損益計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

1	営業収益			
	(1) 負担金	<u>753,303,306</u>	753,303,306	
2	営業費用			
	(1) 管渠・ポンプ場・処理場費	756,710,848		
	(2) 減価償却費	1,680,545,372		
	(3) 資産減耗費	<u>20,295,728</u>	<u>2,457,551,948</u>	
	営業損失			1,704,248,642
3	営業外収益			
	(1) 施設使用料収益	81,220		
	(2) 他会計補助金	239,750,492		
	(3) 建設負担金	27,364,547		
	(4) 長期前受金戻入	<u>1,680,545,372</u>	1,947,741,631	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	174,846,687		
	(2) 一般会計繰出金	14,032,000		
	(3) 雑支出	<u>2,342,688</u>	<u>191,221,375</u>	<u>1,756,520,256</u>
	経常利益			<u>52,271,614</u>
5	特別利益			
	(1) 過年度損益修正益	<u>4,457,867,507</u>	4,457,867,507	
6	特別損失			
	(1) 過年度損益修正損	<u>4,547,303,047</u>	<u>4,547,303,047</u>	
	当年度純損失			37,163,926
	前年度繰越利益剰余金			<u>50,800,076</u>
	当年度未処分利益剰余金			<u><u>13,636,150</u></u>

第4表

令和2年度和歌山県流域下水道事業貸借対照表

(令和3年3月31日)

(単位：円)

		資 産 の 部	
1	固 定 資 産		
	(1) 有 形 固 定 資 産		
	イ 土 地		9,068,658,694
	ロ 建 物	2,915,418,856	
	減価償却累計額	<u>▲146,321,512</u>	2,769,097,344
	ハ 構 築 物	33,946,721,599	
	減価償却累計額	<u>▲1,772,678,260</u>	32,174,043,339
	ニ 機 械 及 び 装 置	7,452,569,358	
	減価償却累計額	<u>▲1,457,766,505</u>	5,994,802,853
	ホ 車 両 運 搬 具	99,171	
	減価償却累計額	<u>0</u>	99,171
	ヘ 工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	6,393,114	
	減価償却累計額	<u>▲2,400,276</u>	3,992,838
	ト 建 設 仮 勘 定		<u>295,203,032</u>
	有形固定資産合計		50,305,897,271
	(2) 無 形 固 定 資 産		
	イ その他無形固定資産		<u>12,750,000</u>
	無形固定資産合計		<u>12,750,000</u>
	固定資産合計		50,318,647,271
2	流 動 資 産		
	(1) 現 金 預 金		216,236,400
	(2) 未 収 金		58,859,004
	(3) 前 払 金		<u>47,365,161</u>
	流動資産合計		<u>322,460,565</u>
	資 産 合 計		<u><u>50,641,107,836</u></u>

(単位：円)

		負 債 の 部	
3	固 定 負 債		
	(1) 企 業 債	<u>8,534,612,628</u>	
	固 定 負 債 合 計		8,534,612,628
4	流 動 負 債		
	(1) 企 業 債	595,343,424	
	(2) 未 払 金	186,424,234	
	(3) 前 受 金	31,548,675	
	(4) そ の 他 流 動 負 債	<u>1,000,000</u>	
	流 動 負 債 合 計		814,316,333
5	繰 延 収 益		
	(1) 長 期 前 受 金	38,451,998,087	
	(2) 長期前受金収益化累計額	<u>▲3,379,559,779</u>	
	繰 延 収 益 合 計		<u>35,072,438,308</u>
	負 債 合 計		44,421,367,269
		資 本 の 部	
6	資 本 金		14,149,000
7	剰 余 金		
	(1) 資 本 剰 余 金		
	イ 国 庫 補 助 金	4,293,542,465	
	ロ その他資本剰余金	<u>1,898,412,952</u>	
	資 本 剰 余 金 合 計		6,191,955,417
	(2) 利 益 剰 余 金		
	イ 当年度未処分利益剰余金	<u>13,636,150</u>	
	利 益 剰 余 金 合 計		<u>13,636,150</u>
	剰 余 金 合 計		<u>6,205,591,567</u>
	資 本 合 計		<u>6,219,740,567</u>
	負 債 資 本 合 計		<u>50,641,107,836</u>

(2) 令和3年度上半期の事業及び経理の状況

ア 事業の状況

令和3年度上半期の流入水量実績は3,822,043立方メートルとなっています。
なお、各処理区別の流入水量は第5表のとおりです。

第5表 令和3年度上半期流入水量状況

月別 処理区別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
		伊都処理区	流入水量 (m^3)	401,254	428,530	393,721	435,771	461,278
那賀処理区	流入水量 (m^3)	211,523	222,532	202,251	223,083	244,583	210,370	1,314,342
合計	流入水量 (m^3)	612,777	651,062	595,972	658,854	705,861	597,517	3,822,043

イ 経理の状況

収益的収支予算における収入は、維持管理負担金及び他会計補助金が主で、支出は、各処理区の処理場管理運営費及び企業債利息が主なものです。

資本的収支予算における収入は国庫補助金、他会計補助金、企業債及び建設負担金で、支出は、建設改良費及び企業債償還金です。

なお、予算の執行状況は、第6表のとおりです。

第6表 令和3年度予算執行状況

収益的収入及び支出
収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額 (B)	(B)/(A) 執 行 率 (%)
	補正前の額	補 正 額	計(A)		
流域下水道事業収益	2,874,645	—	2,874,645	371,283	12.9
(1) 営 業 収 益	910,353	—	910,353	141,498	15.5
(2) 営 業 外 収 益	1,964,292	—	1,964,292	229,785	11.7

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額			執 行 額 (B)	(B)/(A) 執 行 率 (%)
	補正前の額	補 正 額	計(A)		
流域下水道事業費用	2,874,645	—	2,874,645	524,222	18.2
(1) 営 業 費 用	2,649,131	—	2,649,131	441,389	16.7
(2) 営 業 外 費 用	225,514	—	225,514	82,833	36.7

資本的収入及び支出
収 入

(単位：千円)

区 分	予 算 額				執 行 額 (B)	(B)/(A) 執 行 率 (%)
	補正前の額	補正額	繰越額に 係る財源 充当額	計(A)		
資本的収入	902,617	—	456,571	1,359,188	595,343	43.8
(1) 企 業 債	70,500	—	90,200	160,700	—	—
(2) 補 助 金	761,481	—	276,166	1,037,647	595,343	57.4
(3) 負 担 金	70,636	—	90,205	160,841	—	—

支 出

(単位：千円)

区 分	予 算 額				執 行 額 (B)	(B)/(A) 執 行 率 (%)
	補正前の額	補正額	繰越額	計(A)		
資本的支出	902,617	—	456,571	1,359,188	487,928	35.9
(1) 建 設 改 良 費	307,273	—	456,571	763,844	191,571	25.1
(2) 企 業 債 償 還 金	595,344	—	—	595,344	296,357	49.8

VI 令和2年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率

用語解説9

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率のうち、実質赤字比率、
用語解説10 連結実質赤字比率はいずれも実質収支が黒字のため「－」となっています。実質公債費比率は
用語解説11
用語解説12 7.6%、将来負担比率は204.5%となっています。

用語解説13

また、各公営企業会計の資金不足比率は資金剰余であるため、いずれも「－」となっています。

1 健全化判断比率

(単位：%)

	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
令和2年度	－	－	7.6	204.5
令和元年度	－	－	7.5	203.6
早期健全化基準	(3.75)	(8.75)	(25.0)	(400.0)
財政再生基準	(5.00)	(15.00)	(35.0)	

1 () 内は、都道府県早期健全化基準及び財政再生基準（施行令第7条・第8条）

2 実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合は「－」表示

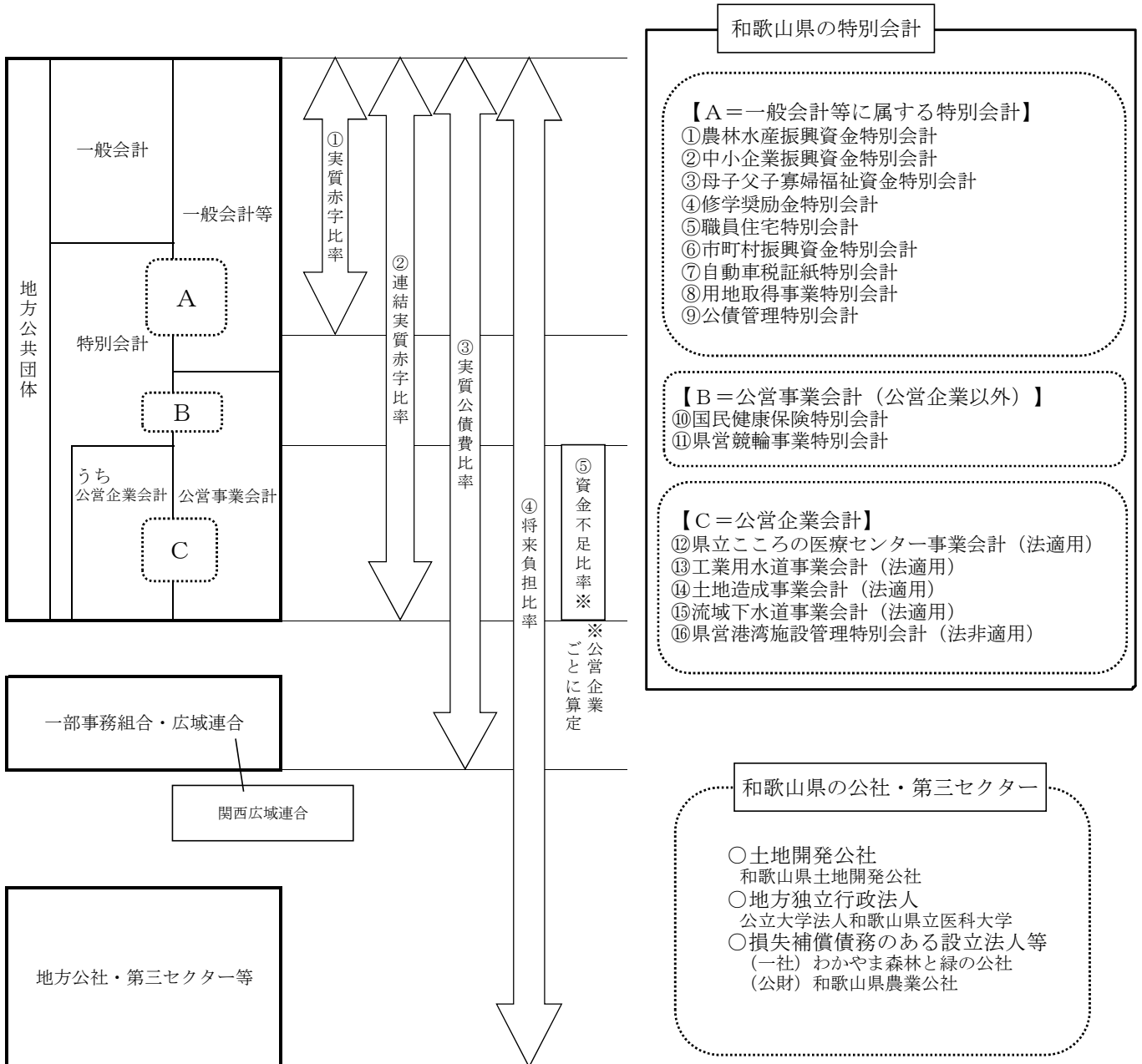
2 資金不足比率

(単位：%)

特別会計の名称	⑤資金不足比率		経営健全化基準
	令和2年度	令和元年度	
和歌山県立こころの医療センター事業	－	－	20
和歌山県工業用水道事業	－	－	20
和歌山県土地造成事業	－	－	20
和歌山県流域下水道事業	－	－	20
和歌山県営港湾施設管理	－	－	20

※資金不足がない場合は「－」表示

和歌山県の健全化判断比率等算定対象



VII 用語解説

1 決算（P. 1）

地方公共団体の一会計年度（4月1日から翌年3月31日までの一年間）の全ての収入と支出の予算の執行実績のことをいいます。

2 一般会計（P. 1）

予算のうちで最も基本的なものが一般会計です。単に予算というときは、一般会計予算を指すことが多く、民生費、教育費、警察費など、その地方公共団体存立の本来の目的そのものの事務を処理するために要する経費が予算計上されます。

地方公共団体における会計は、団体ごとに各会計の範囲がまちまちとなるため、比較が困難です。そこで、地方財政統計上統一のとれた会計区分が求められるわけですが、これを「**普通会計**」といいます。具体的には、一般会計に特別会計の一部を除いたものを合算したものです。

3 自主財源（P. 2）

地方公共団体が自らの手で集められる財源です。具体的には、県税、地方消費税清算金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入がこれに当たります。これに対して、国から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入を依存財源といいます。これには、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、国庫支出金、県債があります。

4 消費的経費（P. 7）

歳出のうち、その支出の効果がその年度限り又は極めて短期間で終わるような性質の経費を消費的経費といいます。人件費、物件費、維持補修費、扶助費、補助費等がこれに分類されます。

5 投資的経費（P. 7）

歳出のうち、その支出の効果が資本形成に向けられ、その収支効果が長期間にわたって持続するような性質の経費を投資的経費といいます。普通建設事業費、災害復旧事業費、失業対策事業費がこれに分類されます。

6 特別会計（P. 9）

特定の収入を財源にして、特定の事業を行う場合に、その収支を明確にするために、一般会計とは別に設けられる会計のことです。さまざまな融資事業や病院、下水道、工業用水、土地造成などの事業で特別会計が設けられています。

7 企業会計（P. 9）

一般的には株式会社等の民間企業における会計をいうものですが、地方財政上は、地方公営企業法の全部又は一部の適用を受ける公営企業のために設けられる会計のことです。本県では、病院事業や工業用水事業などの会計が設けられています。

8 補正予算（P. 10）

予算ができた後に生じた理由により、予算の収入・支出の見積額の追加や変更を行うことです。これに対して年度開始前につくられる予算を「**当初予算**」といいます。

9 実質赤字比率（P. 58）

一般会計と特別会計（以下「一般会計等」という。）の実質赤字額の標準財政規模に対する割合を示す指標のことをいいます。

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

10 連結実質赤字比率（P. 58）

一般会計等に加え、公営企業会計や地方公共団体に設置された全ての会計の赤字額・黒字額を連結し算定した赤字額の標準財政規模に対する割合を示す指標のことをいいます。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において新たに導入されました。

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

11 実質公債費比率（P. 58）

地方公共団体に設置された全ての会計（一部事務組合等を含む。）における一般会計等が負担すべき地方債の償還金の標準財政規模に対する割合を示す指標のことをいいます。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{\text{地方債元利・準元利償還金－基準財政需要額算入額}}{\text{標準財政規模－基準財政需要額算入額}}$$

（3か年平均）

12 将来負担比率（P. 58）

地方公共団体に設置された全ての会計、一部事務組合等、土地開発公社、道路公社、第三セクター等を含めた負債のうち、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合を示す指標のことをいいます。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において新たに導入されました。

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額－充当可能財源等}}{\text{標準財政規模－基準財政需要額算入額}}$$

13 資金不足比率（P. 58）

各公営企業会計単位の実質赤字額（資金不足額）の事業規模（営業収益等）に対する割合を示す指標のことをいいます。

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$

和歌山県報

令和三年十一月二十六日

号外

別冊